

未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 10月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 大久保仁晶
平成30年10月 1日発行

前期終了

4月から始まった平成30年(2018年)度ですが、気がつけば夏も終わり、この5日(金)で前期終了となります。半分か過ぎたこととなります。

終業式の日、学級担任より「家庭への知らせ」をお渡しします。子どもたちの最大の関心事ではないでしょうか。その内容は、子どもの成長の姿を評価し、所見などを通してお伝えするものです。家庭への知らせに目を通しましたが、一人ひとりの児童が、この前期よく頑張ったことが伝わる内容ばかりでした。毎日接していると、その姿が当たり前と思ってしまうがちですが、間違いなく、子どもたちは4月から成長しているのだと、改めて実感しました。学校教育目標の「かしこい子」「やさしい子」の実現に向け、がんばっている姿に、文面を通してですが、とてもうれしく感じました。

保護者の皆さんも、まずはじっくり家庭への知らせをご覧くださいと思います。評価について目がいってしまいますが、所見もよくご覧いただき、子どもたちの頑張りをほめてほしいと思います。そして、家庭への知らせには「保護者から」の欄が設けられています。後期に向け、子どもたちへの励ましの言葉をたくさん表していただけると、子どもたちもよい励みになると思います。

なお、「特別の教科 道徳」の欄につきましては、一年間を通しての所見となりますので、前期は空欄となります。よろしくお願いいたします。

6年修学旅行

9月17日(月)・18日(火)と6年生が日光へ修学旅行に行きました。茅ヶ崎寒川地区24校は6つの分団、4校ずつとなり、JRの専用列車で日光へ向かいます。出発前、国語の学習で、修学旅行への期待を短歌に表している子もいました。

幸いなことに、2日間とも天候に恵まれました。1日目は、昼過ぎに日光に到着し、いろは坂を上って、中禅寺湖を遊覧船でめぐったり、華厳の滝を見たりと日光の自然を満喫しました。2日目は、改修が終わった東照宮の陽明門など歴史に触れる1泊2日の旅行です。

しかし、子どもたちの楽しみは、日光の自然や歴史だけではなく、電車やホテルでの友達との生活や土産物の購入の方が思い出に残ったのかもしれません。家族のための土産選びに一生懸命な姿がありました。また、食後、皿を重ねて片付けやすくしたり、風呂が終わったときに、風呂場の後片付けをしたりする子がいました。帰るときにはホテルのスリッパを丁寧に並べている子など、立派な姿を見せていました。

日常とは違う2日間。ふだんの学校生活を活かして過ごせたこと、そしてふだんの学校生活では学べないことがあったようです。準備等、ご家族の支援をありがとうございました。



ホテルでの夕食の様子